

行

政

報

告

市議会12月定例会が11月27日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

### ご当地ナンバースプレートのデザイン決定

県内初となる「大館市ご当地ナンバ」のデザインが決定しました。

「親しまれる大館」、「ゼロダテとのコラボ」更には「市民参加による決定」を観点とし、アートプロジェクト・ゼロダテが作成した5つのデザインから人気投票を実施した結果、投票総数678票のうち262票を獲得した「秋田犬に鳳凰山」のデザインが選ばれました。

新しいデザインの新ナンバースプレートのデザインは、25年4月1日から交付する予定で、従来のナンバースプレートとご当地ナンバースプレートのいずれかを、申請者が選択できるようになります。



「秋田犬に鳳凰山」のデザイン

### 平成24年の農業

24年は、雪解けが4月上旬にずれ込み、農作業の遅れが懸念されたほか、7月の高温・少雨の影響も心配され、お盆前の降雨によりほぼ解消されたものの、一部の農作物では生育不良が見られました。

水稲は、東北農政局が10月30日に公表した「平成24年産水稲の作付面積及び予想収穫量」によると、県北の作況指数は全県100に対して99の「平年並み」でした。また、JAあきた北管内の1等米比率については、11月6日現在で前年比マイナス4ポイントの81%、24年産米の生産者概算金については、あきたこまちで昨年より700円多い60キログラム当たり1万3500円となりました。「新規筆粟米については、国の水田活用の所得補償交付金」及び「大館市飼料用米等作付支援事業」の助成体系のもと、認定農業者58人、集落営農6組織、その他農家43人が取り組み、作付面積は前年度並みの180・5ヘクタールとなりました。

野菜は、アスパラガスが9月の好天により出荷量が増えましたが、気温の低下とともに平年並みとなり、単価は前年比118%となりました。枝豆は、8月～9月にかけての高温の影響で、収穫できないほ場や害虫被害が見られたほか、出荷時期も各産地と同時期になつたため、単価は前年比73%となりました。トンブリは、6月の定植期以降の乾燥と8月からの高温の影響による生育不良も見られましたが、出荷量は平年並みで、単価は前年比117%となりました。山の芋は、9月の高温やその後の降雨による収穫期の遅れが見られましたが、おおむね良好に推移しています。

果樹は、リンゴに高温の影響による着色不良や生育不良が多く見られ、出荷量が減少しています。ナシは、全国的に黒星病やカメムシ被害が多発し、出荷量は4割程度減少しています。

### 敬老事業

9月1日から27日まで、市内16会場で敬老会を開催し、最高齢101歳のかたをはじめ、3115人にご参加いただきました。

敬老会の参加率は減少傾向にありますが、婦人会や町内会の皆様のご協力で実施できることは、地域社会のつながりが保たれている証でもあることから、今後も様々な工夫をしながら継続

したいと考えています。

また、11月21日には合同金婚式を開き、結婚50年という長い歳月を共に歩んでこられた、20組の夫婦にご出席いただきました。



敬老会の様子(十二所地区)

### 光ブロードバンド整備事業

24年度は、東館・大葛西地区で総延長42キロメートルの整備を実施し、現在の進捗率は約70%で、年度内の供用開始を見込んでいます。また、通信事業者による事業でも11月1日から新たに十二所地区でサービスが開始されるなど、そのエリアは順次拡大されています。25年度は、長走・雪沢地区で総延長55キロメートルを整備し、光ブロードバンドを市全域に広げる予定です。

工事の状況(東館地区)

